

絵でなければできない表現を探究
ボックスアートもプロは背景で語る

リアルかつリアリズム
資料と想像で描き出す

青々とした海に白い波しぶき。荒波を削りながら突き進む、力強いタンカー船。写真でも、写真を合成したものでもない。コンピュータで細密に描かれたイラストだ。作者はプラモデルのボックスアートなどを手掛ける天神英貴氏。

「リアルよりリアリズムを目指しました。ディテールが多少違っていたとしてもこれが力強い日章丸であると感じられるように、ダイナミックに表現しています」

このイラストは出光興産の企業広告で、モチーフは日章丸事件。出光興産の創業者出光佐三氏は、欧米の資源包囲網の中、タンカー船である日章丸をイランへ差し向け、ガソリン、軽油約2万2千キロリットルを満載して1953年5月9日に川崎港に帰港。中東産油国との直接取引を始めたことが世界に注目された事件だ。「一人の力を信じ、世のためになる仕事をする」という同社の信念を象徴する出来事で、広告は、日章丸の帰港から60年目となる今年5月9日に掲載された。

天神氏がタンカーを描くのは初めて。写真や設計図などをもとに描いたという。

「日章丸は実在するタン

カーですが、手前に向かって来る構図での記録は写真、映像ともになく、想像しながら描く必要がありました。少しでも多くタンカーの情報を得るために、タンカーの技術者にもお会いして、設計図にあるパイプの用途や重量のこと、また甲板が雨にぬれたときの状況などを細かく教えていただきました」

船の後方にある出光のロゴが入ったタワーブリッジをあえて入れず、迫力ある構図は「デザイナーの方からの指示。絵描き仲間から面白い絵だと好評を頂きました」と天神氏。タンカー船のスケールを表現するため荒波の水滴、一つひとつ手を抜かずに描いている。

「タンカーのみを写実的に描いても、波の形や泡など背景の描き方次第で、うそっぽい絵になってしまうんです」

コンピュータも単に画材
問題はいかに表現するか

そんなリアリスティックなフィクションの表現は、プラモデルのボックスアートの仕事で身につけた。ガンダム、マクロスなどプラモデルの箱には、プラモデル本体はもちろん、背景を描き込む。

「ボックスアートの業界では、背景を見れば誰が描いたかわかります。プラモ



デルとなる作品の世界観を魅力的に伝えるためにも、フィクションなのにリアルに感じられるためにも、背景でどれほど語れるかが重要です」

画材はコンピュータ。「アドビシステムズの『フォトショップ』という画像制作ソフトとペンタブレットで描いています。アナログとの大きな違いは、何度も描き直しができて、色も自在に変えられること。また、絵の具を乾かす必要もないので、納期も短縮できる。非常に便利なツールが私の世代で手に入ったことはラッキーだったと思います。二度と描けないような芸術的な絵が生まれにくいという側面もあります

が、振り返ってみれば、水彩絵の具、ポスターカラー、ガッシュなど、新しい画材が出るたび、表現の変化があったのも事実。そう考えると、コンピュータもひとつの画材道具のようなも

「アドビシステムズの『フォトショップ』という画像制作ソフトとペンタブレットで描いています。アナログとの大きな違いは、何度も描き直しができて、色も自在に変えられること。また、絵の具を乾かす必要もないので、納期も短縮できる。非常に便利なツールが私の世代で手に入ったことはラッキーだったと思います。二度と描けないような芸術的な絵が生まれにくいという側面もあります。水彩絵の具、ポスターカラー、ガッシュなど、新しい画材が出るたび、表現の変化があったのも事実。そう考えると、コンピュータもひとつの画材道具のようなも

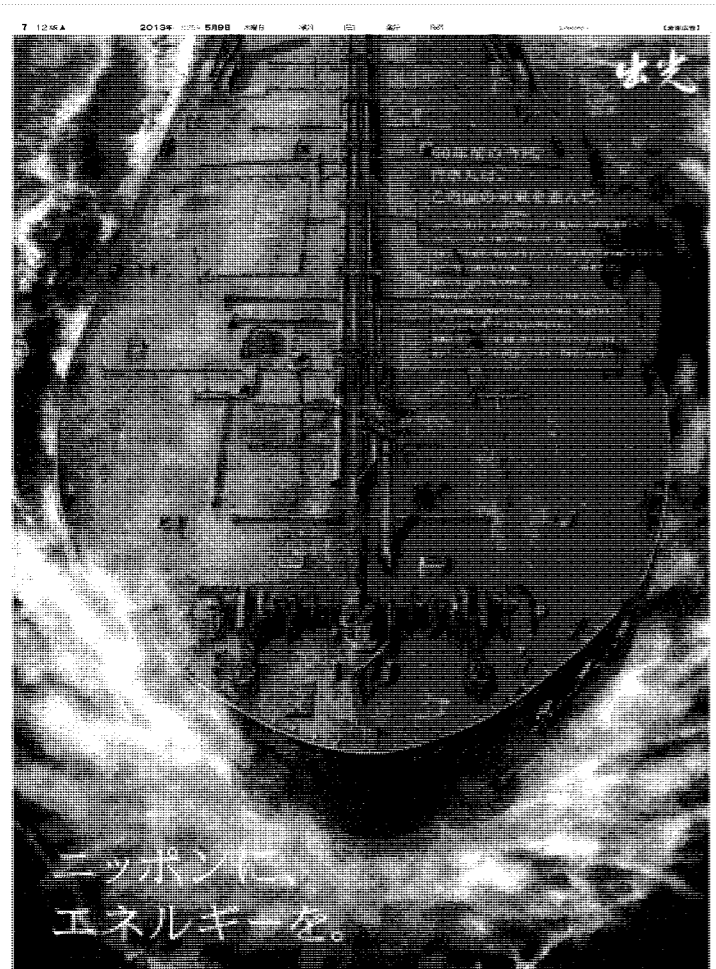


天神英貴さん

てんじん・ひでたか/兵庫県生まれ。芝浦工業大学システム工学部卒。ハセガワの「マクロス」シリーズ、バンダイのガンダムをはじめ「マスターグレード」シリーズのボックスアートを描く。アニメ「マクロスゼロ」「マクロスF」「創聖のアクエリオン」のメカニックアートなど、アニメーションの分野でも活躍。CGによる表現ながらプラシ感を意識的に表現することで画面に物語性を導入、精密でリアリティーあるメカニック描写と合わせて独自の世界観を打ち立てている。イラストレーター業以外にも、ナレーター、メカニカルデザイナー、イメージボードアーティストとしても活動中。著書に『天神英貴WORKS』(アスキーメディアワークス/2010年)、『VALKYRIES』(光文社/2005年)、『VALKYRIES Second Sortie』(光文社/2011年)。

文/西山薫 写真/星野章

ので、画材が何であれ、作品は表現する人の側の問題である(これも自明です) グラフィックソフトが進歩する今、プロに求められるのは「見る人の心に届く表現力の強さ」と天神氏。今後も、絵でなければできない表現を探究していきたい」



2013年5月9日付朝刊掲載